

2021年度 DP（ディプロマポリシー）に関連した能力に関するルーブリック調査（アンケート）

《入学時》

	主体性	協働力	思考力	発信力	社会情勢の理解	基礎的知識	総平均値
英語・編入コース	2.28	2.33	2.29	2.00	1.71	1.78	2.06
医療コース	2.13	2.13	2.36	2.13	1.39	1.65	1.97
ホテル・プライダルコース	2.27	2.47	2.23	2.13	1.59	2.00	2.11
会計・ビジネスコース	1.97	2.33	1.97	1.59	1.30	1.64	1.80
全体	2.16	2.32	2.21	1.96	1.50	1.77	1.99

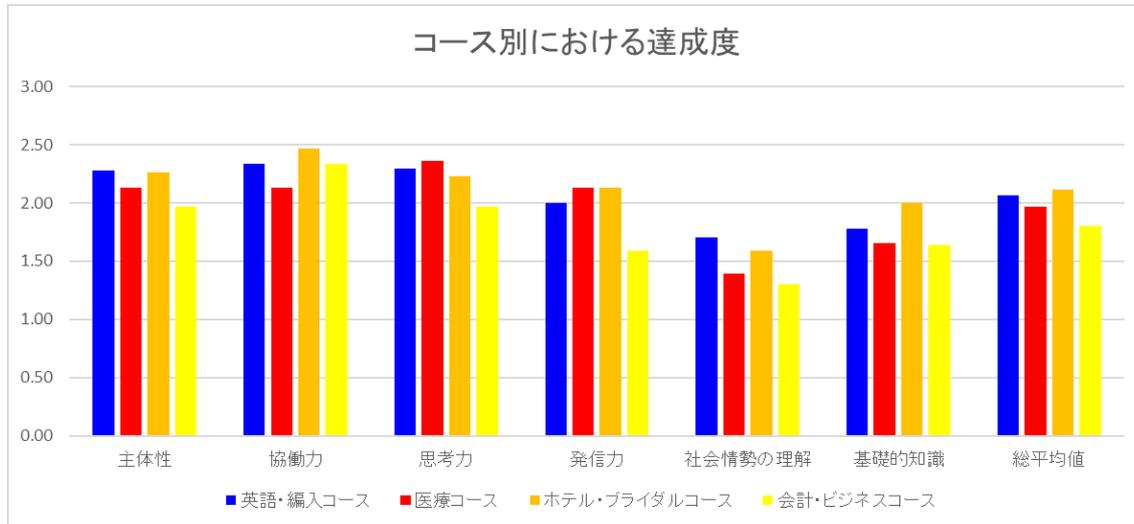
《卒業時》

	主体性	協働力	思考力	発信力	社会情勢の理解	基礎的知識	総平均値
英語・編入コース	2.73	3.43	2.93	2.80	2.40	2.33	2.77
医療コース	2.04	3.04	2.74	2.17	1.57	2.17	2.29
ホテル・プライダルコース	2.37	3.11	2.70	2.85	1.81	2.37	2.54
会計・ビジネスコース	2.33	2.96	2.48	2.41	1.81	2.15	2.36
全体	2.34	3.10	2.68	2.54	1.85	2.25	2.46

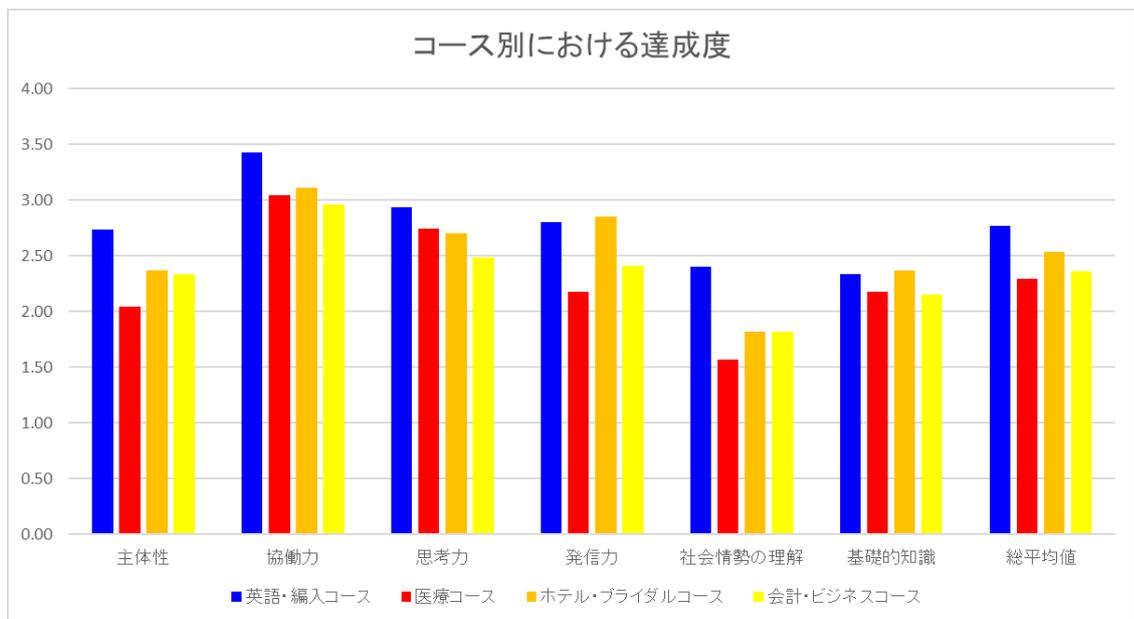
《差異（成長度）》

	主体性	協働力	思考力	発信力	社会情勢の理解	基礎的知識	総平均値
英語・編入コース	0.46	1.10	0.64	0.80	0.69	0.56	0.71
医療コース	▲ 0.09	0.91	0.38	0.04	0.17	0.52	0.32
ホテル・プライダルコース	0.10	0.64	0.47	0.72	0.23	0.37	0.42
会計・ビジネスコース	0.36	0.63	0.51	0.81	0.51	0.51	0.56
全体	0.18	0.78	0.47	0.58	0.35	0.48	0.47

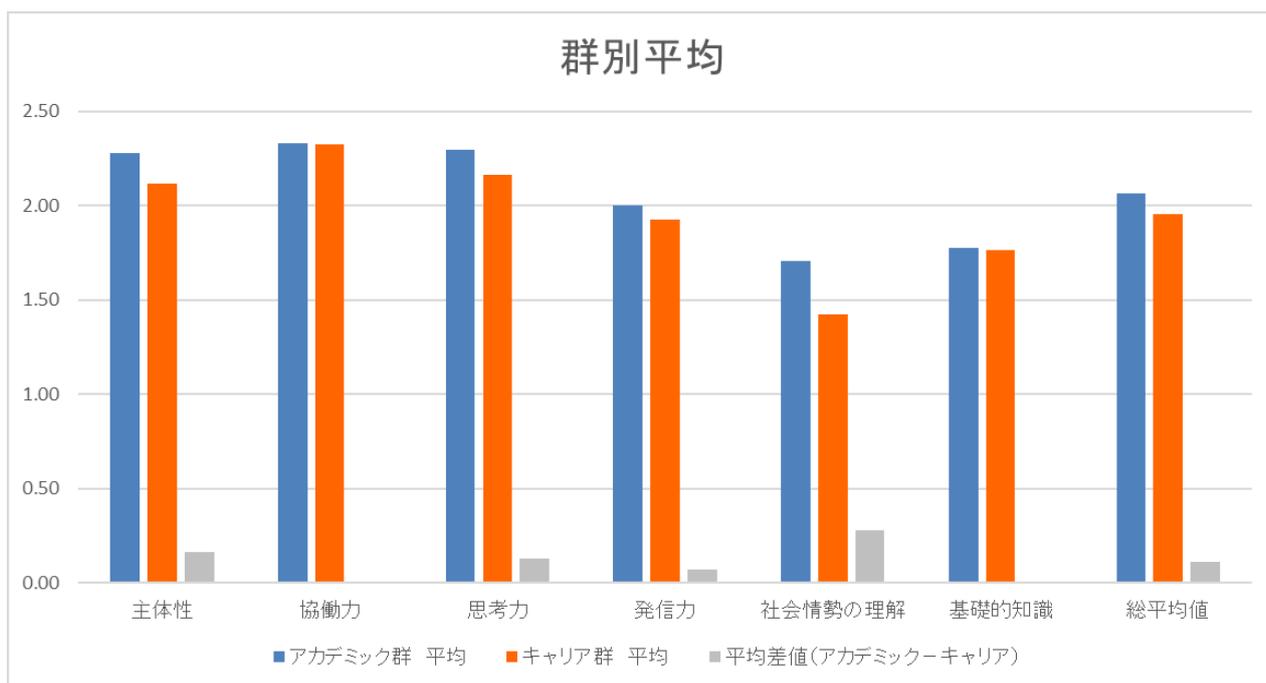
《入学時》



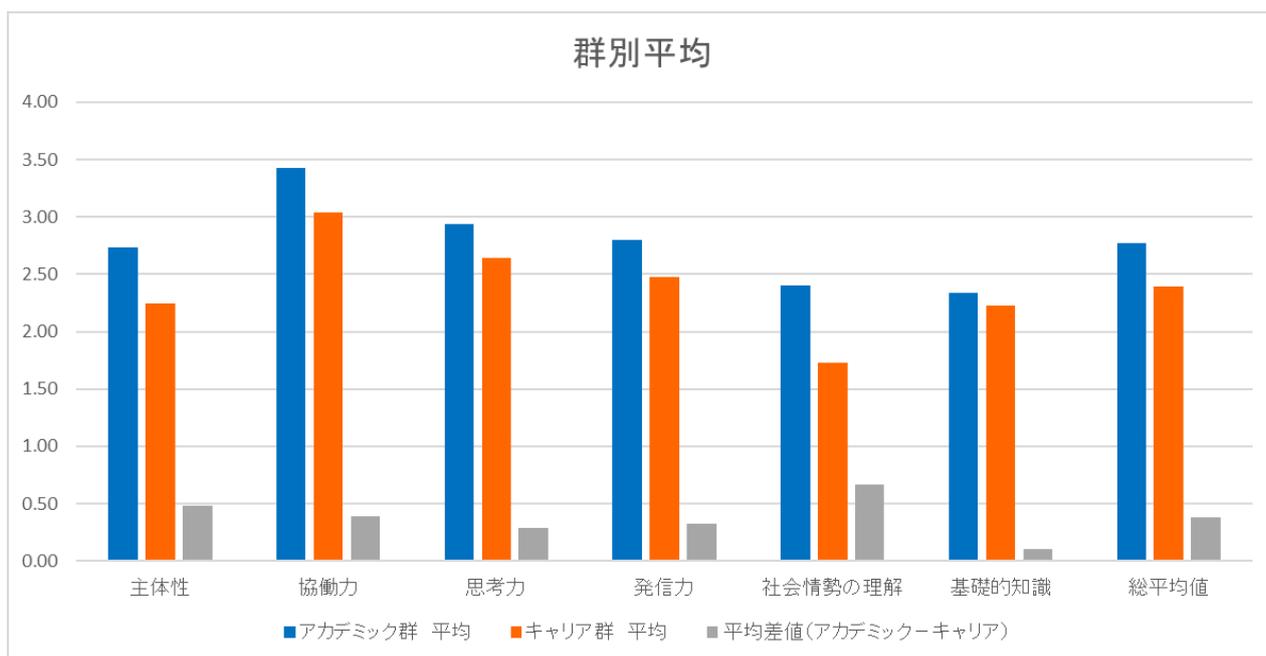
《卒業時》



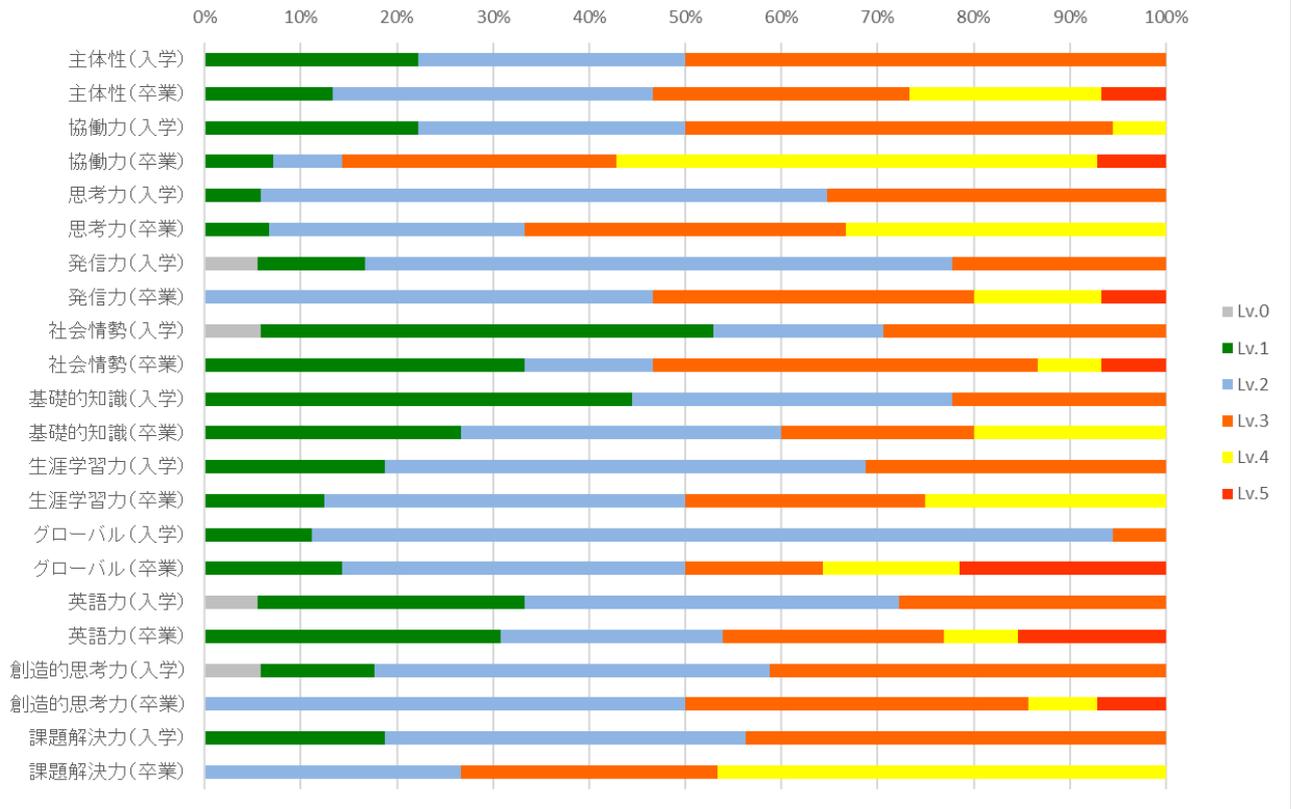
《入学時》



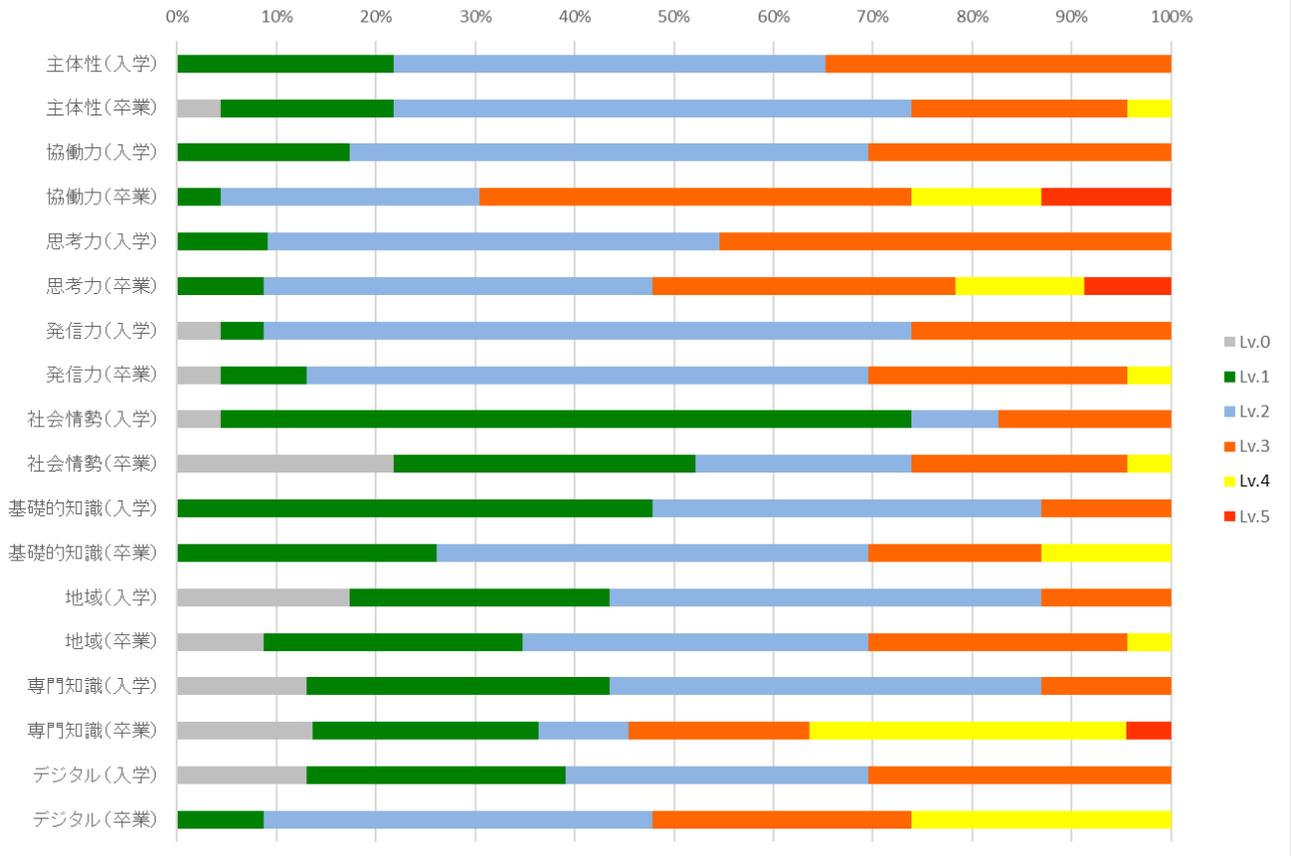
《卒業時》



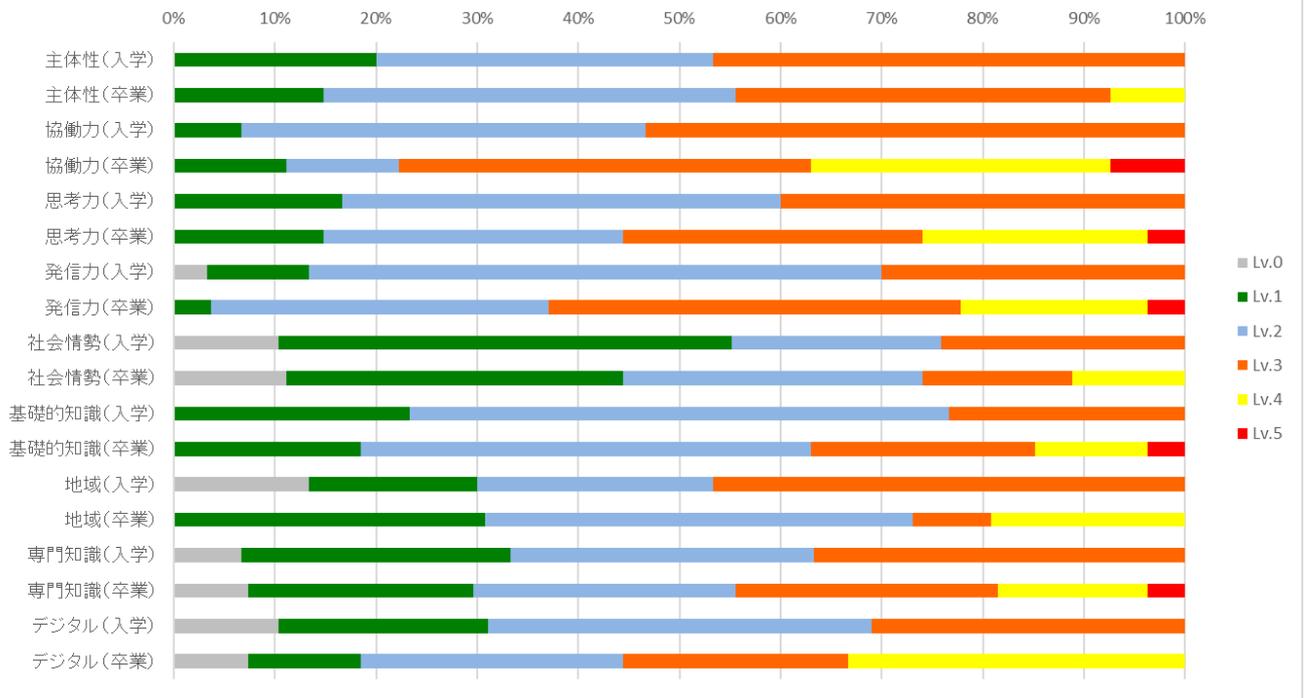
## 英語編入コース



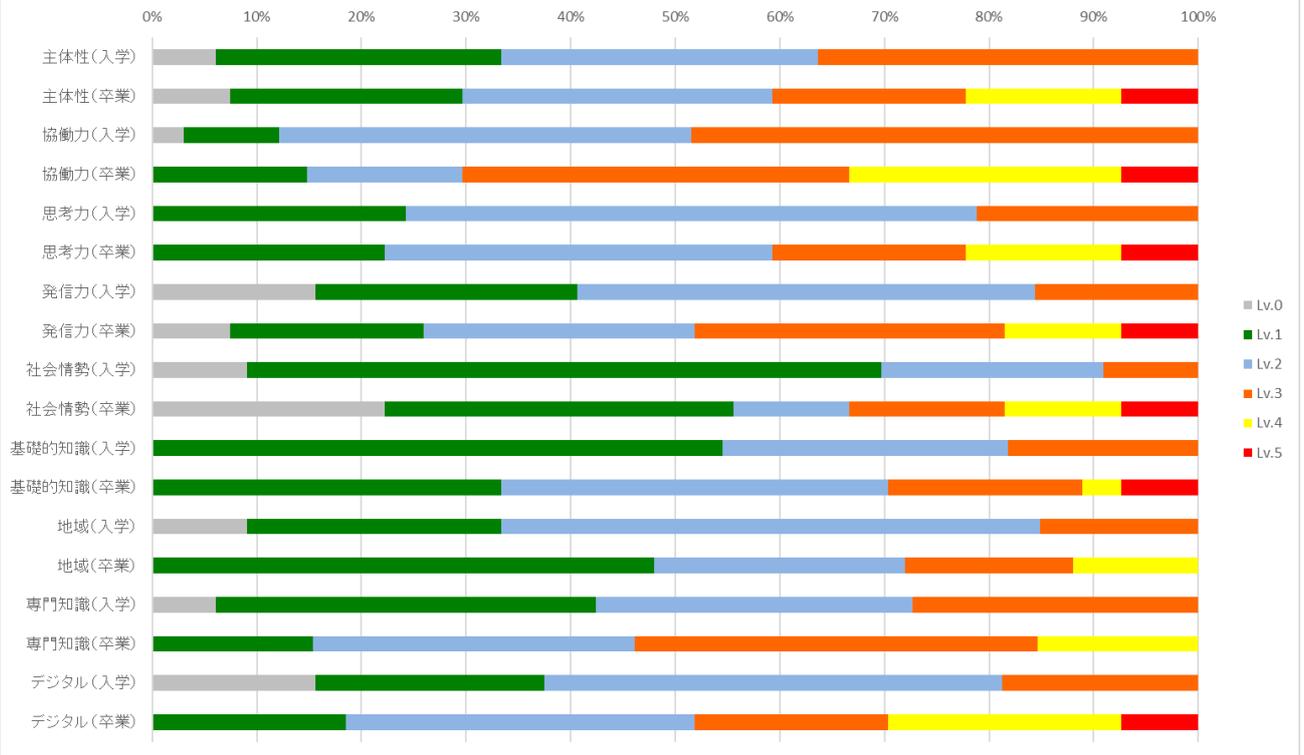
## 医療コース



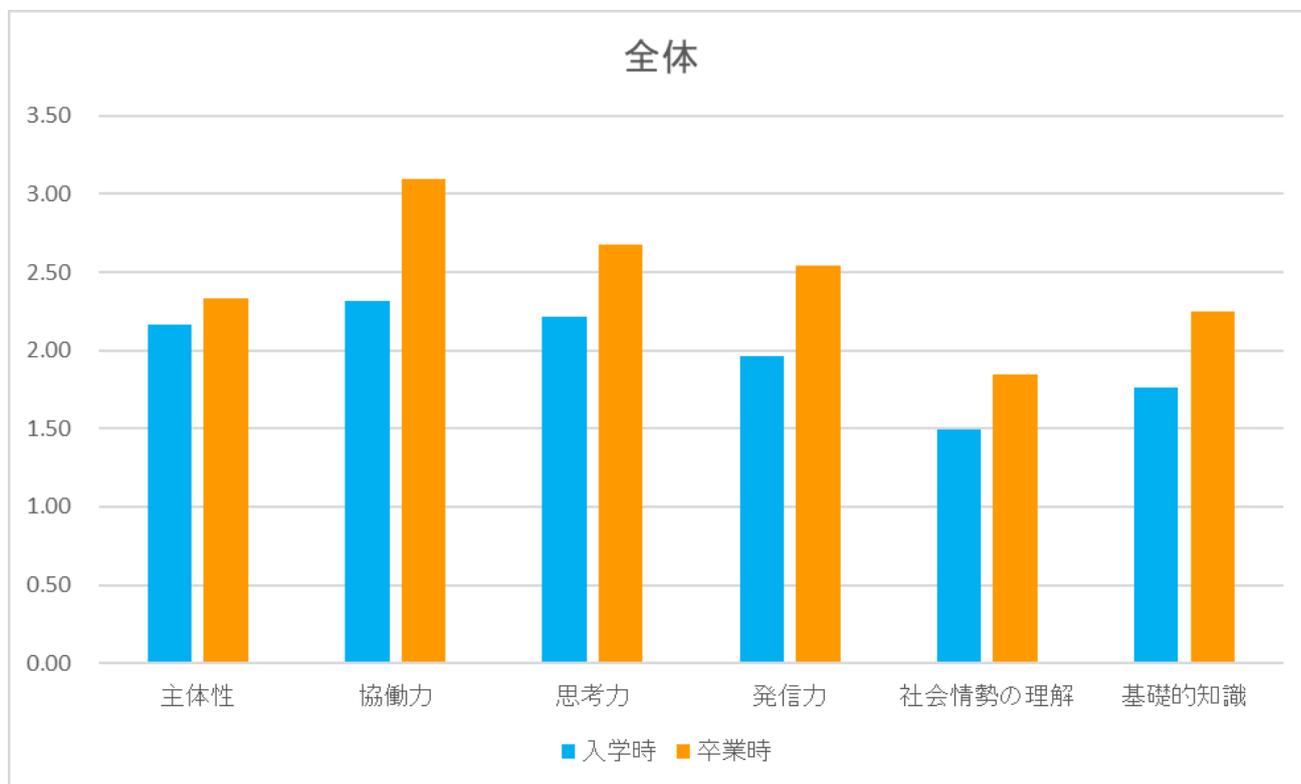
## ホテル・ブライダルコース



## 会計・ビジネスコース



	主体性	協働力	思考力	発信力	社会情勢の理解	基礎的知識
入学時	2.16	2.32	2.21	1.96	1.50	1.77
卒業時	2.34	3.10	2.68	2.54	1.85	2.25
伸び	0.18up	0.78up	0.47up	0.58up	0.35up	0.48up



#### 《所見》

ディプロマポリシーに関連する能力をルーブリックの形式で学生自身が自己評価したもの。

全項目において、入学時より卒業時に伸びが見られる。特に「協働力」においては、0.78ポイント伸びており、授業内でグループワークを多く取り入れ、チームを組んで1つのプロジェクト等に取り組むことを意識した教育プログラムを提供しているため、「伸びた」と実感している学生が多いと考えられる。また「発信力」も0.58ポイント伸びていることから、初年次より授業内で発言する機会を増やし、卒論をプレゼンテーション形式で発表していることも寄与しているのではないかと考えられる。双方共にアクティブラーニングの効果と考えられる。

コース別に比較すると、「協働力」においては、“英語・編入コース” (1.10up) と“医療コース” (0.91up) に高い伸びがみられ、「発信力」においては、“会計コース” (0.82up)、“英語・編入コース” (0.80up)、“ホテル・ブライダルコース” (0.72up) が高い伸びが見られた。“英語・編入コース”では、グループでのコミュニケーションを重視している語学系科目が多く、また「思考力」も他コースより大きく伸びていることから (0.64up)、『ロジカルシンキング』『クリティカルシンキング』など課題解決型の科目が影響していると考えられる。“医療コース”においては、資格取得に特化した科目が多いが、コロナ禍において2年間医療系のインターンシップを実践できなかった代わりに、ボランティアやプロジェクト型の課外活動に参加した学生が多くみられた。ほとんどの課外活動はチームで取り組んでいるため、比較的他コースに比べ「協働力」が伸びたと実感したのではないかと考えられる。

全体的にも「主体性」と「社会情勢の理解」の伸びが低かったことは、大きな課題である。「自主・自立」を建学の精神として掲げている本学にとって、卒業時において「主体的に動ける」と自信をもって実感できるよう、自己効力感をあげる取り組みが必要である。また、「社会情勢の理解」については実学を提供するビジネス系の教育機関として重視する必要がある。伸びの大きいコースの事例をFD研修会で取り上げる等を行い、有効と思われる教育方法の共有が行えると良い。